The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	デザイン理論　46号　投稿規程/執筆要領/編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2005, 46, p. 212-213
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/52950
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

「デザイン理論」投稿規程

昭和37年11月11日改正，昭和60年11月8日改正，
平成2年11月10日改正，平成6年7月9日改正，
平成14年11月9日改正

1．内　　容：デザインに関する未発表の論文，研究報告等。
2．投稿資格：本会会員
3．採　　択：採否及び掲載号については編集委員会が決定する。
4．査　　読：学術論文については，編集委員会が査読者2名に依頼する。査読結果は編集委員会が本人に通知する。結果は，(A)無条件採用，(B)条件採用，(C)不採用とする。
査読期間は2ケ月程度とする。
5．執筆要領：別に定める。
6．提出期限：基本的には随時。ただし，学術論文は，査読のため，5月春号掲載希望は，1月15日，11月秋号掲載希望は，6月30日を〆切りとする。
学術論文以外は，これは投稿予告の期限で，実際の投稿期限は，それぞれ3月31日，8月31日となります。
7．提 出 先：意匠学会編集委員会
なお，以上の規程は，平成14年11月9日より発効する。

「デザイン理論」執筆要領

平成6年6月4日　編集委員会決定

1．原　　稿：
原稿は400字詰め横書原稿用紙に横書きとする。
ワープロで作成する場合は，A4大の紙に1行40字，1頁30行程度で作成すること。査読論文の場合は最終原稿とともに，また，研究報告等は原稿提出時に，フロッピー（機種，ソフト等を明記）も提出すること。いずれの場合も，提出に際しては，コピーをとって手元に保存すること。
また，所定の割付用紙に割り付けを行なって，原稿とともに提出すること。割付用紙は必要に応じて各自コピーすること。
2．原稿の分量：
分量は学術論文と研究報告はともに，図版，図表，注などすべてを含めて，刷上りで，14頁以内とする。(400字詰原稿用紙では約45枚である)。紙上発表は8頁以内，発表レジメは2頁とする。
3．原稿の構成：
原稿には，表紙，本文，注，および学術論文と研究報告には欧文（原則として英文）要約，キーワード，目次を付すこと。
表紙には，表題，著者名（ふりがな付き），所属機関名を和文と欧文（原則として英文）で書くこと。
欧文要約は，刷上り1頁とする。語数は約200語。必ず，タイプライターまたはワープロで作成すること。また，できる限り，当該言語を母国語とする人の校閲をえておくこと。
キーワード（和文および英文）は，それぞれ5語以内とする。
4．図・表のレイアウトなど：
図版はモノクロームとし，位置の指定，大きさ，レイアウト，必要なトリミングなどはすべて執筆者が行なうこと。レイアウトなどには学会指定の割付用紙で行なうこと。
図版などの著作権の問題があると思われる場合は，執筆者自身が事前に許可をとっておくこと。当学会は著作権についての責任は負わない。

編集後記

昨年度末に役員改選が行われ，新会長の下，新たな歩みが期待される年です。編集委員会も，梅宮弘光先生を副委員長に迎え，主に秋号を担当していただけることになりました。春号は今しばらく渡邊が中心となって担当します。編集委員のメンバーも半数替わり，さらなる充実に努めます。

年2回の発行となって2年目ですが，当初危惧していたような投稿者不足もなく，今号の9点の学術論文に明らかなように，嬉しい悲鳴という状況です。ただ昨年もそうでしたが，春号と秋号で投稿者が春号に偏り，アンバランスが生じています。秋号への投稿が増えることを願っています。

投稿者に悩むことがないのは，学会の活動としては活況の証ですから，嬉しい限りです。勿論問題がないのではありません。査読つきの論文が，博士後期課程の学位審査の申請条件となっているケースが多く，それが現在の投稿者の多さの要因となっていると思われます。これ自体に問題があるのではありません。問題は，課程修了後の研究者としての活動環境の厳しさです。若い研究者に，常勤は勿論非常勤のポストですら，潤沢に用意されている状況ではありません。むしろ厳しさが増しています。

研究の継続とその成果の発表を学会としては期待するのですが，容易ではありません。30歳代，40歳代の研究者の研究発表が増えているとは言えません。この状況は簡単には解決できませんが，発表の場を確保することが，研究の継続に少しでも寄与することになると願って，努力したいと思っています。

（文責　渡辺　眞）

編集委員（旧）

足立裕司　太田喬夫　櫛　勝彦
榊原吉郎　佐藤敬二　並木誠士
橋本英治　藤田治彦　藪　享
横川公子　渡辺　眞（委員長）

デザイン理論　46号

Journal of the Japan Society of Design, 46/2005

発行日　2005年5月30日
発行　意匠学会
事務局　〒606-8585
京都市左京区松ケ崎御所海道町
京都工芸繊維大学工芸学部造形工学科意匠学教室内
TEL　075-724-7603
FAX　075-724-7629
発行者
意匠学会　編集委員会
事務局　〒610-1197
京都市西京区大枝沓掛町13-6
京都市立芸術大学美術学部第3研究室群合同研究室内
TEL/FAX　075-334-2255
編集責任者　渡辺　眞
印刷所　㈱北斗プリント社